

『時事直言』 No.1683 2024年7月22日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[X(旧 twitter)] [t_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/

[instagram] [t_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)



時事評論家 増田俊男

バイデン次期大統領候補撤退声明には裏(真実)がある

高齢、認知症、集中力低下等々でバイデンに次期大統領は無理であることは当然バイデンご本人が一番よく知っているのだから、私はバイデンが何時撤退声明を出すかの問題であると言ってきた。

「私が撤退するかどうかを決めるのは全能の神だけだ」と言って撤退を勧告する民主党の一部の声に反発してきたが、7月17日ラスベガスでの集会後新型コロナの陽性反応が出たため自宅(デラウエア)での隔離生活になるとバイデンは主治医が、自分の健康に問題があると言えば進退を考えると言い始めた。

バイデンは自身の進退決定者を全能の神から主治医に変えたのである。

バイデンの撤退を求める民主党議員や民主党支持者の内外の声に従って辞めるのではなく、あるいは辞めさせられるのではなく主治医に従った形を作る為の伏線である。

クリントン夫妻とオバマ夫妻がメディアに出始めたのでバイデンは安心して撤退声明を決意したのである。

バイデンは民主党の規約に従ってカマラ・ハリス現副大統領が自分に代わって大統領候補に指名されることを望んでいると述べているが、バイデンご本人はもとよりハリスでトランプに戦えると思っている民主党議員はいないだろう。

バイデンが民主党の為にならないことを望んで見せたのはハリス副大統領への「餞別」(せんべつ)である。

餞別をもらったハリスがバイデンの意を解して自ら身を引けば、民主党の大統領、副大統領指名は白紙に戻り、トランプに勝てる最強のコンビネーション(組み合わせ)を作ることが出来る。

ハリスが規約を盾に大統領候補指名にしがみつけば大統領選も上下院選も民主党は大敗するだろう。私が推薦する対トランプ必勝のコンビネーション、「ミッシェル・オバマとヒラリー・クリントン」の案はすでに民主党の大物に伝わっていることが確認出来た。

何故クリントン夫婦が、バイデン撤退を百も承知していながら、バイデンの為に選挙資金募集に協力を呼びかけるのか。

そして時を同じくしてオバマ夫妻がテレビに出始めた。

民主党の黒幕が、私が思っている通りの芝居を展開すれば民主党に利がある。

私は7月28日ワシントン DC でマイケル・フリン氏(トランプ政権時の国家安全保障問題大統領補佐官)と会う。

ミッシェル・オバマ、ヒラリー・クリントンのコンビネーションをぶち壊す「唯一の手」についてお話しする予定である。

身の毛がよだつような裏(真実)話は「インターネット目からウロコの増田塾」で毎日発信している「本日の世界情勢」で聞くことが出来ます。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前にマスダ U.S.リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。